

緑が、街を変えていく。

～住宅・建築事業における緑化推進と
環境緑化事業「ECOLOGREEN(エコログリーン)」～

2014年12月12日

大和ハウス工業(株)・大和リース(株)



事業概要 と 緑化創出の背景

Daiwa House®

《事業内容》

“人・街・暮らしの価値共創グループ”



《緑化創出の背景》

古くから日本では、自然を受け入れ、自然とともに暮らしてきたが、近代化が進むにつれ高層ビル、建物が乱立(コンクリートジャングル)し、

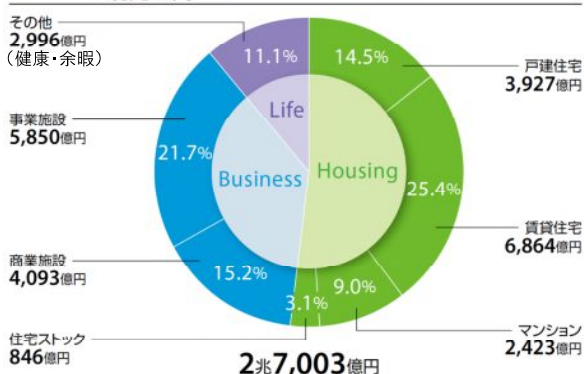
- ・大気汚染(環境汚染)
- ・異常乾燥(砂漠化)
- ・水資源枯渇
- ・温暖化による気象災害(洪水など)
- ・ヒートアイランド現象

などの都市問題が起こっている。

《売上高(連結)》

※2014年3月期

セグメント別売上高(連結) ※グループ内取引を除いた比率



2015年度までの目標

- ＜基幹事業での緑化＞ 緑被面積**60万㎡**＋環境共生住宅認定**80%以上**
- ＜環境緑化事業＞ 特殊緑化施工面積を**10万㎡**

中長期計画	<p>環境中長期ビジョン2020</p> <p>大和ハウスグループは、環境と共生し人が心豊かに生きる暮らしと社会の実現を目指し、住宅や建築物のライフサイクルにおける“環境負荷ゼロ”に挑戦する。</p>
目標	<p>エンドレス グリーン プログラム 2015</p> <p>【基幹事業における緑化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 緑被面積を2012年度比1.25倍以上の60万㎡/年とする。 ➢ 環境共生住宅認定率を80%以上とする(分譲住宅のみ)。 <p>【環境緑化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 施工面積を2012年度比 5倍の10万㎡/年とする。
コンセプト	<p>緑が、街を変えていく。</p>



© 2007 Daiwa House Industry Co., Ltd. All rights reserved. Jan. 00th, 2007 2

壁面緑化の施工事例(国外)

ダイワリースの壁面緑化は、本場フランスの特殊緑化技術を導入しています。



駅



駐車場



住宅



庁舎

ダイワリースの壁面緑化は、本場フランスの特殊緑化技術を導入しています。



オフィス



ワイナリー



駐車場

© 2011 Daiwa Lease Co., Ltd. All rights reserved. Aug. 24th, 2011

そもそも、みどりの効能とは

ヒートアイランド

現象の緩和

生物多様性の確保

CO2の吸収(光合成)

リラクゼーション効果

視覚疲労の回復効果

憩い・癒し・

セラピー(治療・治癒)

などなど、いろいろあると言われているが...

「緑がある」ことに対して、

価値の見える化

をどう実践していくか。

【参考①】 既存施設への緑化 老朽化した商業施設 編



Before



After



【商業施設 フレスポ稲毛】

千葉県稲毛市にある大和リースの商業施設「フレスポ稲毛」は、施設の減築を行い緑の広場を創出し、巨大なウェルカムボードを設置しました。

閑散としていた施設は、「公園のような場所」に生まれ変わりました。現在では、お子様をつれたお母さんたちなど、多くの人々に足を運んでいただいております、賑わいを取り戻しました。



Before



After 昼



After 夜



【都市の大樹】

(2013年6月竣工)

大阪梅田駅前にそびえ立つ円形の建築物を大木に見立て、壁面を植物で覆い尽くしました。また、大樹のふもとには緑のテラスとして、20種類の植物で都市のオアシスを創出しました。

今では、OLさんがお弁当を広げたり、カップルがカフェとして利用したりと、新たなコミュニティゾーンに生まれ変わりました。

Before



After



大阪市内の「みどり」や河川、公園、市の花、野鳥なども紹介しています。

【大阪花屏風】(JR新大阪駅前広場
2012年8月竣工)

閑散としていた駅前ロータリー。以前はたばこのポイ捨てゾーンでした。

そこを、みどりの花屏風でお出迎え。待ち合わせスポットとしても、休憩スポットとしても、現在では多くの人々に利用していただいております。



- ①地域のコミュニティーの活性化。人々の憩いの場。
 - ②来場者数と、滞在時間の増加。隣接テナントの売上増加。
 - ③観光客等の記念撮影のスポットに。賑わい創出。
 - ④街の美化・ポイ捨てへの抑止力に。
 - ⑤待ち合わせ場所として、ランドマーク機能。
 - ⑥駅前や街そのもののイメージUP。
- 等々



快適である ⇒ 人が集うようになる ⇒
環境による不動産価値が向上

活動による成果・効果

- ◆ 環境共生住宅 **7年連続1位**、施工物件敷地の緑被面積は50.4万㎡
- ◆ 環境緑化事業は、30,211㎡(**全国の約1割***)の緑化を実現

※国土交通省発表の「平成25年 全国屋上・壁面緑化施工実績調査結果について」より

《緑の創出(住宅・その他建築物)》

〔住宅〕

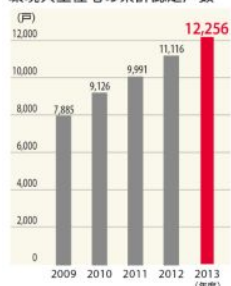
一般財団法人建築環境・省エネルギー機構が認定する「**環境共生住宅*** 認定制度」において、**7年連続建設実績総合1位**を達成。

※外構面積の40%以上緑化することが、要件のひとつ

〔住宅・その他建築物〕

当社施工物件敷地の緑化は、2013年度に **50.4万㎡**(前年度比7.2%増)を達成。

環境共生住宅の累計認定戸数



《緑化事業による普及・拡大》

〔環境緑化事業〕

2011年より本格的に始まった環境緑化事業は、年々事業を拡大し、**2013年度は、全国屋上・壁面緑化面積の約1割に相当する30,211㎡**(前年度比**63%増**)、施工件数は、155件(前年度比40%増)を達成。



大和ハウスグループは、これからも“緑”の普及・拡大に向けた取り組みを進め、緑と人が共生する、より豊かな街づくりを目指します。

緑が、街を変えていく。

緑が、暮らしを変えていく！

ご清聴、誠にありがとうございました。